

デザイン | 藤森勁晴 Fujimori, Keisei

グループテーマ | Leg culture

靴下で包み込む“足”を取り巻く文化形態。

日本だけでも、様々な足に関する文化がある。

足袋文化、土足文化、氣候、ファッション、履く人/履かない人、アイデンティティ。

住環境の充実、生活様式の変化から靴下を買わない人、履かない人が増えた。

靴下の在り方が、コロナ禍でさらに変化してきている。

今ある足文化に新しくアプローチするとしたら？

新しい足文化の在り方を提案するとしたら？

個人テーマ | ルーティーン

ルーティーンとは、習慣的に行う動作のこと。

スポーツ選手などが、集中力を高めたり、ゲンを担いだりするために行うことでも有名である。

無意識に、ただの癖として行うのではなく、意識的に、自分がルーティーンを行っていることを自覚することで自己暗示にかかり、効果を発揮することができる。

「Routine Socks」は、毎日の習慣として何気なく靴下を履くという行為に「ルーティーン」という意識を芽生えさせることができる靴下である。

靴下の側面に矢印の柄がある。

二本の矢印は上を向いて、その二本に挟まれて反対方向の矢印が現れる。

靴下を履く際に、矢印の方向に靴下を上げることが気持ちの上昇と重なることを視覚化するギミック。反対に、靴下を脱ぐときは下向きの矢印でスイッチオフ。

靴を履いているときは、上向きの矢印のみが認識できるようになっている。

在宅ワークでなかなか気持ちを切り替えることができないときでも、

「Routine Socks」を履くことで、やる気スイッチをオンにすることができる。



SUKENO × GEIBUN ×